

英語科学習指導案

日時 平成26年10月21日(火) 5校時
展開学級 千葉市立末広中学校 2年C組
展開場所 2年C組
授業者 角田 徹

単元名 NEW CROWN2 Lesson5 My Dream

1 単元の目標

- (1) 将来の夢についてのスピーチをすることができる。
- (2) 将来の夢についてのスピーチ原稿を読んで、その内容を理解することができる。
- (3) 間違えることを恐れず積極的にスピーチしている。
- (4) 不定詞(名詞用法、副詞用法、形容詞用法)に関する知識を身につけている。
- (5) スピーチを聞いて、その内容を確認することができる。
- (6) 自分のなりたい職業を話したり、書いたりすることができる。
- (7) 行動の目的を話したり、書いたりすることができる。
- (8) 間違えることを恐れず積極的にインタビューしている。

本単元は、職業体験プログラムで農業体験を行ったエマの話と、久美の将来の夢に関するスピーチについての内容である。将来の夢に関するスピーチでは to 不定詞を用いて、願望や予定、目的を表す表現も用いられている。したがって、自分の将来の夢を書いたり話したりするときに必要な表現やその使い方を教科書を通して学び、自分自身の願望や予定、目的を含めて英文でスピーチ原稿を書いたり話したりする力を養う。

2 生徒の実態

(第2学年C組男子18名、女子14名、計32名)

〈省略〉

3 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
①間違うことを恐れず積極的にスピーチしている。 ②間違うことを恐れず積極的にインタビューしている。	①将来の夢についてのスピーチをすることができる。 ②自分のなりたい職業を話したり、書いたりすることができる。 ③行動の目的を話したり、書いたりすることができる。	①スピーチ下校をよんでその内容を理解することができる。 ②スピーチを聞いて、その内容を理解することができる。	①不定詞（名詞用法、副詞用法、形容詞用法）に関する知識を身に付けている。

4 指導と評価の計画

	○ねらい ・学習活動	単元の 評価規準	評価方法
1	○本単元で身に付ける技能や理解する内容を知る ・warm-upとして将来の夢について対話し、教師の子ども時代の夢を紹介などする。 ・本単元で身に付ける技能や理解する内容を知る。		
	○不定詞（名詞用法）を用いた文の構造を理解する。 ・不定詞（名詞用法）を用いた文の構造を知る。 ・教科書の本文を通して、不定詞（名詞用法）の使い方を理解する。 ・教科書本文の内容を理解し、音読練習する。	エの①	後日ペーパーテスト
2	○不定詞（名詞用法）を用いた文の構造を理解し、使う。 ・教科書本文がすらすらと読めるようにする。 ・教科書本文以外の文を通して、不定詞（名詞用法）の理解を深める。 ・不定詞（名詞用法）の文が聞き取れるようにする ・将来つきたい職業についてペアに伝えることができる。 ・不定詞（名詞用法）の文が書けるようにする。	アの② イの② エの①	後日ペーパーテスト 活動の観察
3	○不定詞（副詞用法、形容詞用法）を用いた文の構造を理解する。 ・不定詞（副詞用法、形容詞用法）を用いた文の構造を知る。 ・教科書の本文を通して、不定詞（福祉用法、形容詞用法）の使い方を理解する。 ・教科書本文の内容を理解し、音読練習する。	エの①	後日ペーパーテスト
4 本 時	○不定詞（副詞用法、形容詞用法）を用いた文の構造を理解し、使う。 ・教科書本文がすらすらと読めるようにする。 ・教科書本文以外の文を通して、不定詞（副詞用法）の理解を深める。 ・不定詞（副詞用法）の文が聞き取れるようにする ・将来つきたい職業についてペアに伝えることができる。 ・不定詞（名詞用法）の文が書けるようにする。	アの② イの② エの①	後日ペーパーテスト 活動の観察
5	○スピーチを読んで、内容を理解する。 ・本文を読んで、大まかな内容を理解する。	ウの①	後日ペーパーテスト

6	○スピーチを読んで、内容を理解する。 ・スピーチの内容を理解し、音読練習する。 ・スピーチの内容を要約する英文を書く。	ウの①	後日ペーパーテスト ハンドアウト
7	○スピーチ原稿を書く。 ・スピーチを聞いて、内容を理解する。 ・”My Dream”というテーマのスピーチ原稿を書く。	イの① ウの②	活動の観察
8	○英語でスピーチを発表する。 ・”My Dream”というテーマのスピーチを発表する。 ・グループで発表する。 ・代表者が全体の前で発表する。 ・発表者に対し、評価とコメントを書く。	アの① ウの②	活動の観察
9	○まとめ ・章末テスト	エの①	ペーパーテスト

5 本時の指導（第4時）

(1) 本時の目標

- ①「～するために・・・する」と行動の目的を話したり、書いたりすることができる。
- ②間違いを恐れず積極的にインタビューに取り組むことができる。

(2) 本時の展開

過程	学習内容と活動	指導上の留意点	評価
挨拶 (1分)	○英語で挨拶する “Good afternoon, everyone.”	・明るく元気に挨拶をし、英語を学習する雰囲気を作る。	
Warm-up (9分)	○歌 “Take Me Home, Country Road”を歌う。 “Now, let’s sing a song.” ○音読トレーニングを行う。 ・前時に学習した to 不定詞(副詞用法、形容詞用法)を用いた教科書本文を音読する。 ・ to 不定詞(副詞用法)を用いた分の意味を確認し、本時の目標を確認する。 ○本時の学習のめあての確認をする。 ・自己評価カードに本時の学習のめあてを記入する。	・教師も一緒に歌い、大きな声で歌えるように促す。 ・机間指導をし、しっかりと音読しているかを見る。 【資料②】 ・黒板に掲示してある本時の目標を見ながら確認させる。【資料①】	
「～するために・・・する」と行動の目的を話したり、書いたりすることができる。			
展開1 (15分)	○to 不定詞(副詞用法)を用いた文を言う。 ・イラストを見ながら口頭練習をする。 T: Please describe the picture in English with “to～”.	・目標文を正確に言えるようにするため、さまざまなモデル文を示す。	

	<p>S : I go to Tokyo to see my friend.</p> <p>Tom went to the park to play volleyball.</p> <p>Tom went to the park to run.</p> <p>Tom went to the park to see birds.</p> <p>Amy went to the stadium to see a soccer game.</p> <p>Koji used a computer to find the CD.</p> <p>Miki will read books to learn about clean energy.</p> <p>○多読トレーニングを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時に学習した本文以外の教科書本文を黙読し、学習した文法事項を用いた文に下線を引き、日本語に直す。 ・to 不定詞(副詞用法)が Why~?に対する応答にも使えることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・PCのスライドのイラストと英文のヒントを示す。 ・全体でリピートさせたあと、生徒を指名し、to 不定詞(副詞用法)を用いた文がしっかり言えているかを確認する。 ・難しい本文は飛ばし、取りかかりやすい本文から読むように伝える。【資料③】 	
展開2 (22分)	<p>○教科書 p.57 の Word Corner を確認する。</p> <p>○to 不定詞(形容詞用法、副詞用法)を用いた英文を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書のリスニング問題に取り組む。 <p>○to 不定詞(副詞用法)を用いたインタビューを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師によるデモンストレーションを見て、インタビューのやり方を確認する。 <p>T : I'll go to the supermarket to buy drinks.</p> <p>How about you?</p> <p>T : I'll go to the convenience store to buy drinks.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・隣の人とインタビューする。 ・教室内を歩き回りインタビューする。 <p>○to 不定詞(副詞用法)を用いた英文を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インタビューで聞いた友だちの情報を英文にまとめる。 <p>T : Please write about your friends using "I'll go to ~ to buy ...". 友だち will go to ~ to buy</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ピクチャーカード、フラッシュカードを用いて New Words が定着しやすいように工夫する。 ・デモンストレーションを行い、ゲームのやり方を具体的にイメージさせる。 ・机間指導をし、やり方がわからない生徒や、英語の発音がわからない生徒に助言する。【資料④】 ・机間指導をし、書き方がわからない生徒には、口頭で例文を示すなど、アドバイスをする。 	活動の観察 (本時の目標①) プリント (本時の目標②)
まとめ (2分)	<p>○本時の学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価カードに本時の学習の振り返りを記入する。 ・自己評価カードに黒板に書かれた確認問題の答えを書く。 <p>確認問題 : 「sweets を買うとき、あなたならどこへ行きますか。to 不定詞を使って一文の英語で書きなさい。」</p> <p>答え : I'll go to (the convenience store) to buy sweets.</p>	【資料①】	
挨拶 (1分)	<p>○英語で挨拶する。</p> <p>“Goodbye, everyone.”</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活動によく取り組んだことを褒める。 	

(3) 本時の評価

① 「～するために・・・する」と行動の目的を話したり、書いたりすることができたか。

② 間違いを恐れず積極的にインタビューに取り組むことができたか。